

九動株式会社との無料ウェビナー共同開催のお知らせ

—多発性嚢胞腎における前臨床試験に関するアプローチ—

SMC ラボラトリーズ株式会社（本社：東京都大田区、以下「当社」）は、NPHP3 遺伝子の変異により自然発生的に腎臓に嚢胞を形成する常染色体潜性遺伝性の多発性嚢胞腎症モデルである DBA/2FG-*pcy* マウスを有する九動株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、以下「九動」）と共同で、多発性嚢胞腎に関する無料ウェビナーを開催いたしますので、お知らせいたします。

■ ウェビナーの内容

多発性嚢胞腎（Polycystic Kidney Disease：PKD）は、腎臓に多数の液体で満たされた嚢胞が形成され、腎機能が徐々に低下する代表的な慢性腎疾患です。現在、V2 受容体拮抗薬であるトルバプタンが使用されていますが、多尿や肝機能障害などの副作用や十分な有効性が得られない患者が存在することから、新たな治療法の開発が世界中で進められています。そのため、ヒト PKD 病態を高い再現性をもつ前臨床モデルを用いた薬効評価の重要性が高まっています。

本ウェビナーでは、ヒト常染色体劣性多発性嚢胞腎（ARPKD）様の病態を自然発症する DBA/2FG-*pcy* マウスを題材に、九動よりモデルの特性をご紹介するとともに、当社より薬効評価試験における実践的な活用方法をご紹介します。

講演内容は以下の内容を予定しております。

- DBA/2FG-*pcy* マウスの特徴 [九動]
- 前臨床試験における評価指標設計および薬効評価の実務 [当社]

■ 開催概要

- 日時：2026年7月29日（水）13:00～14:00（JST）
- 形式：オンライン開催（参加無料）
- 主催：九動株式会社、SMC ラボラトリーズ株式会社

参加登録は以下よりお願いいたします。

<https://events.teams.microsoft.com/event/03dd9997-8f0d-466c-813b-af7fc65e87f4@cb485259-2dc4-4452-9032-c125f76b3c03>

■ 対象

- 製薬企業・バイオテック企業の研究者
- 腎疾患研究に取り組むアカデミア研究者
- 前臨床試験設計に関与する研究者
- 新規疾患モデルの導入を検討されている方

■ 英語コンテンツについて

本ウェビナーは日本語にて開催されますが、英語での視聴を希望される方には、後日、英語版アーカイブの提供を予定しております。

ご希望の方は、当社までお問い合わせください。

■ 今後の展開

当社は今後も、疾患モデルおよび前臨床試験設計の高度化を通じて、創薬開発における意思決定の精度向上に貢献してまいります。

■ 会社概要

SMC ラボラトリーズ株式会社は、肝疾患領域を中心とした前臨床薬効評価に特化したCROとして、独自の疾患モデルおよび試験設計に基づき、創薬における意思決定支援を提供しております。

■ 本件に関するお問い合わせ先

SMC ラボラトリーズ 株式会社

Email: sato@smclab.co.jp

Website: <https://smccro-lab.com/>